

熊本市立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(宇土市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	宇土市	本町1丁目	宇土の御獅子舞	うとのおんししまい	熊本県重要無形民俗文化財昭和36年6月26日	10月19日	西岡神社	<p>秋季例大祭があり、宇土御獅子舞が披露された。獅子舞は、1740(元文5)年、細川興文公が五穀豊穡を祈って奉納したのが始まりとされ、本町1丁目の保存会が継承している。唐人衣装に身を包んだ子どもたちが、目を覚ました雌雄の獅子と戯れる様子を軽やかに舞った。【2008.10.20熊日】</p> <p>西岡神社(和銅6年=713創建)の祭礼に獅子組により奉納される獅子舞。元文5年(1740)、細川興文が三宮社(永承3年=1048に旧来の春日、住吉両社に八幡宮を合祀して成立=西岡神社の前身)に獅子舞奉納を思い立ち、長崎に人を遣って唐伝来の舞の型を研究し、さらに一層工夫を加えて完成したものといわれる。祭礼に先立つ10月1日に飾卸をし、19日の祭礼には神輿を先導して市内を舞い回り、最後に西岡神社の境内で舞い納める。舞は、(1)楽廻り(2)春眠(3)そらとぼけ(4)楽の遊び(5)背くらべ(6)玉拾い(7)合戦(8)千秋万歳楽の各所作おら構成され、玉振り役の少年に2人立ちの雌雄2頭の獅子が対面して舞う。楽は太鼓、銅鑼、チャルメラでにぎやかに奏される。【熊本県ありのままHP2005】</p> <p>本町一丁目の保存会が受け継いでいる”宇土御獅子舞”は熊本県の無形文化財に指定されています。元文5年(1740)細川月翁公が、長崎に伝わる唐風の獅子舞を西岡神社に奉納したのが始まりとされ、以来260年もの長い時代を経て、本町一丁目獅子組によって当時のままの姿で今日に伝えられています。この獅子舞は、銅鑼(ドラ)と鉦のリズムに合わせて雌雄二頭の獅子と童子が戯れる様子が表現され、荘重なる楽とともに玉振り、おきはな、楽の遊び、せい比べ、玉拾い、合戦、千秋万歳と舞納めるものです。毎年、西岡神社の大祭に奉納されますが、獅子と相前後して牡丹の花の山車が町を練り歩きます。【宇土市HP/2005】</p> <p>宇土の御獅子舞は唐独特の舞方に工夫を重ね完成させたものである。【2001】</p>	祭礼 (神社行事)	宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		
2	宇土市	松山町	宇土松山の花棒踊り		宇土市無形民俗文化財 昭和46年8月28日	不定期	松山神社	約120年前島津藩の旅人から伝えられたと言われている。【2001】		宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		
3	宇土市	椿原町	椿原雨乞い太鼓踊り	つばはらあまごいたいこおどり	宇土市無形民俗文化財 昭和48年8月18日	田植え後のソウ祭り 7月中旬	椿原八幡宮	<p>3年に1度椿原八幡宮に大太鼓を奉納し、サナブリ祭を行う。【2001】</p> <p>《演目》太鼓踊り、ねんねこ踊り。《特色》男性50人が大太鼓をかたぐ、その太鼓にと鉦、笛に合わせて女性が踊る。ねんねこ踊りでは歌が付く。【1991】</p>	【伝統芸能】 風流芸	宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		
4	宇土市	城塚町	城塚雨乞い太鼓踊り			随時	不定		【伝統芸能】 風流芸	宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		
5	宇土市	神馬町	西岡神社神楽	にしおかじんじゃかぐら		10月19日 10月20日	西岡神社 松山神社	10月19日西岡神社、10月20日松山神社【1991】	【伝統芸能】 神楽	宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		
6	宇土市		上古閑雨乞い太鼓 後川祭り			田植え時期	上古閑町内		【伝統芸能】 風流芸	宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階)0964-23-0156 FAX 0964-58-1005		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
7	宇土市	本町	地藏祭りの造りもん	じぞうまつりのつくりもん		8月23日 8月24日	宇土市本町通り	《構成》《特色》【1991】			宇土市教育委員会 文化振興課 文化財係 (本庁3階) 0964-23-0156 FAX 0964(58)1005	
8	宇土市	三拾町	宮座まつり	みやざまつり		1月21日	中野公民館	この地区では住民が輪番で神様役をつとめ、その際の交替の儀式。松山神社の神様が、当時海岸だったこの地区に上陸したという故事にちなむ。この年959年目で氏子33世帯が毎年輪番で3人ずつ神様役(親神様、子神様2人)となる。神事後、神様のシンボル「御幣」を背中に差し、おそろいの赤い神姿で祭壇に並び、白い袴を着た前年の神様から杯を受けとる。大きい杯は直径55センチほど。神様役の3人は、並々と注がれたお神酒を約40人の参加者に回しながら飲み干すと、頭の上にかざして地区の平穏を祈る。この後、神様と参加者は公民館近くを練り歩く。【2007.1.22.熊日】				
9	宇土市	松山町	松山神社秋季例大祭	まつやまじんじゃしゅう きれいたいさい		10月20日	松山神社	健やかな成長を願い、紅白のねじり鉢巻きをした21人の赤ちゃんが土俵入りをする。アマチュア力士に抱えられ、しこ名をもらう。【2007.10.22.熊日】				
10	宇土市	旭町	宇土大太鼓フェスティバル	うとおおだいこふえす ていばる		8月2日	宇土市運動公園	江戸時代から市内各地に伝わる雨乞い太鼓の復興と伝承のため、各地の太鼓保存会などでつくる実行委主催で23回目。保育園や宇土高和太鼓部、各地区保存会など19団体の約700人が参加。商店街を太鼓を引いてパレードした後、子どもたちの演奏で幕開けした。法被に鉢巻姿のメンバーは力強く息の合った演奏を披露。【2008.8.4.熊日】				